

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【公開番号】特開2009-295532(P2009-295532A)

【公開日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2008-150427(P2008-150427)

【国際特許分類】

H 01 J 29/28 (2006.01)

H 01 J 31/12 (2006.01)

【F I】

H 01 J 29/28

H 01 J 31/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月13日(2011.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板と、

前記基板上に行列状に位置する複数の発光部材と、

各々が、列方向に隣接する少なくとも2つの前記発光部材を覆っている被覆部分と、該被覆部分どうしを列方向で接続する接続部分とからなる複数の電極と、

行方向に隣接する前記接続部分どうしを接続する行方向抵抗体とを有する発光体基板であって、

前記被覆部分の行方向の幅が前記接続部分の行方向の幅よりも大きいことを特徴とする発光体基板。

【請求項2】

列方向に隣接する前記電極どうしを接続する列方向抵抗体をさらに有する請求項1に記載の発光基板。

【請求項3】

複数の電子放出素子を備えた電子源基板と、

請求項1又は2に記載の発光体基板とを有し、前記電子放出素子から放出された電子によって前記発光部材が発光する画像表示装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の発光体基板は、基板と、基板上に行列状に位置する複数の発光部材と、各々が、列方向に隣接する少なくとも2つの発光部材を覆っている被覆部分と、被覆部分どうしを列方向で接続する接続部分とからなる複数の電極と、行方向に隣接する接続部分どうしを接続する行方向抵抗体とを有する発光体基板であって、被覆部分の行方向の幅が接続部分の行方向の幅よりも大きいことを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の画像表示装置は、複数の電子放出素子を備えた電子源基板と、上述の発光体基板とを有し、電子放出素子から放出された電子によって発光部材が発光する。